

電気通信大学 平成20年度シラバス

| | | | |
|---------|-----------------------------------|----------|--------|
| 授業科目名 | システム工学実験第二 | | |
| 英文授業科目名 | Systems Engineering Laboratory II | | |
| 開講年度 | 2008年度 | 開講年次 | 3年次 |
| 開講学期 | 後学期 | 開講コース・課程 | 夜間主コース |
| 授業の方法 | 実験 | 単位数 | 3 |
| 科目区分 | 専門科目-学科専門科目-必修科目 | | |
| 開講学科・専攻 | システム工学科 | | |
| 担当教官名 | T全教員 | | |
| 居室 | | | |

| | |
|--------------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| 板倉直明 水戸和幸 | |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| 経営工学、制御工学、電気・電子工学、人間工学など様々な視点から、システム工学について実験を通して習得する。システム工学についての理解を深め、それぞれの分野の能力やスキルを修得することを目標とする。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 特になし。 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| 特になし。 |

| |
|-----------------|
| 【教科書等】 |
| 各実験項目毎に資料を配付する。 |

| |
|---|
| 【授業内容とその進め方】 |
| ガイダンスの後、下記の8項目についてそれぞれ3週間にわたり実験を行う。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 制御工学 2. 経営工学 3. 品質・信頼性工学 4. 生産システム工学 5. アナログ回路 |

電気通信大学 平成20年度シラバス

- 6 . デジタル回路
- 7 . ソフトウェア工学
- 8 . 生体情報

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席及び欠席・遅刻・早退、実験への取り組み方、報告書を総合して評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

各実験項目の担当教員の指示に従うこと。

【学生へのメッセージ】

実験の単位を修得するためには、全ての実験に真摯な態度で取り組み、適切な報告書を期日までに提出する必要があります。また、実験前日は十分な睡眠をとり、気力・体力の充実した態勢で実験に望むことを希望します。

【その他】

システム工学実験第一と合わせて評価します。